

IUHW

The gazette of the International University of Health and Welfare

第26号

発行：学校法人国際医療福祉大学
編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000 内線7127
ホームページアドレス <http://www.iuhw.ac.jp>



たたかい奪った優勝杯



パンの中身は何？



デビュー！ チアリーディング部 Panthers



涙、涙、涙の大会委員長

大号泣

～4年間で一番の達成感～

5月22日、第4回国際医療福祉大学運動会が初夏の陽射しの中間催されました。実習中の学生や翌日に行われる理学の学会などで参加者は約1400人と昨年よりは減少してしまいました。（丸山先生も欠席です。）

しかし、実行委員を含め参加したすべての方の協力で新種目も大いに盛り上がり成功することができました。そして、昼食時に行われた応援合戦では計5学科が参加し熱いエールを送ってくれました。地域の方も多数参加していただきありがとうございました。来年は、打倒理学でみんな頑張れ!! (看護4年星野友美)



「共に生きる」いっしょにはしる

運動会

◇祝・理学療法学科 笑運動会優勝ノ

笑運動会の翌日、世界理学療法連盟学会が横浜で開催される為、多くの先生方が笑運動会に参加できませんでしたが、みごと優勝する事ができました。トロフィーをA-303にかざっておけるという事を誰よりも丸山学科長が喜んでいらっしゃると思います。毎年恒例の応援団は、今年から他学科も参加され、盛り上がりを見せました。理学療法学科のみから始まったこの応援団が、全学科参加で笑運動会の恒例行事になればなあと思います。(理学3年 松本武志)



◇「同窓会マロニエ会の近況と今後の活動について」

この6月で丁度同窓会「マロニエ会」が発足して2ヶ月が過ぎました。現在保健学部卒業生の同窓会役員12名、大学事務局より事務・監査3名合計15名で実質上活動しております。現在の活動状況としては同窓会名簿の作成と入学案内送付に向け奔走しております。また支部会の発足は急務のこととして検討中です。卒業生は半数以上病院に勤務しており他職種の人達と仕事をしていかなければなりません。そのような中で卒業生の横の繋がりを固め、情報交換の場として支部会を拠点とし、今後活動内容を発展させてゆく考えです。

(同窓会「マロニエ会」役員 橋本聡子)

お知らせ

◇大学説明会&体験入学

第1回 7月31日(土) [場所] 国際医療福祉大学

第2回 8月4日(水) [時間] 10:00~16:00

第3回 8月28日(土) [交通] 東北新幹線・JR東北本線「那須塩原駅」東口より無料送迎バス(往復)運行
(当日は9時40分過ぎより15分~20分間隔で運行)

プログラム	内 容
総合ガイダンス	学長をはじめ、各学科別に教員が教育内容を説明します。その他入試概要の説明も行います。
体験入学	LL教室、情報処理教室、各学科の実習室など自由に見学して下さい。教員と学生が担当します。授業を始めキャンパスライフの様子を直接聞くことが出来ます。
個別入試相談会	入試は勿論、入学後の事までなんでも相談OKです。教員と大学職員が担当します。

〈お問い合わせ〉 〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600-1 TEL 0287-24-3200 (入試事務局)

「おめでとうノ平成11年度奨学生決定」

◇平成11年度同和火災海上保険奨学生決定

平成11年度の同和火災海上保険奨学生8名が決定され、去る5月13日に同和火災海上保険株式会社において認証式が行われました。この奨学金制度は、同社が創業100周年記念行事の一環として保健・医療・福祉等に従事する専門職の育成を目的とした本学の趣旨に賛同して設立され、平成9年度から給付が開始されたもので、返済の必要はありません。平成11年度新規の奨学生は以下の皆さんです。



看護 楢館民忠(看護2年)、田代忠野(看護2年)

理学 田崎智美(看護2年)、金子達也(理学2年)

言語 金澤郁恵(理学2年)、緒方一美(言語2年)

作業 草刈まおり(言語2年)、竹井一博(作業4年)

また、昨年度選ばれた8名の皆さんの給付継続が決定しています。

◇平成11年度国際医療福祉大学奨学生決定

国際医療福祉大学奨学金は、学則第59条にもとづき大学より支給されるものです。

本年度の奨学生は以下の皆さんです。

看護 林 由香里(2年)、長瀬悦子(3年)

萱沼由香(4年)

理学 高野亜希子(2年)、韓 憲受(3年)

阿部奈穂子(4年)

作業 茜ヶ久保嘉代(2年)、田中未涼(3年)

高梨衣代(4年)

言語 本間 紅(2年)、小山祐見子(3年)

石田素子(4年)

放・情 鈴木一史(2年)、菅沼政紀(3年)

村石泰伸(4年)

経営 高瀬智子(2年)、杉浦民枝(3年)

福祉 芦沢茂喜(2年)、中村哲也(3年)

◇遠隔リハビリプロジェクトの

日中合同推進会議の開催

平成11年4月21日(水)午後、本学校内にある那須遠隔リハビリリサーチセンターで実施中の通信衛星を介した遠隔リハビリテーション教育システムプロジェクトの合同会議のため、中国康復研究中心の湯小泉主任ら4名が来校しました。一行は湯主任、杜俊琪副主任、研究フェローの周国昌医師、中国障害者連合会国際部の李玲氏の4人でした。会議の目的は、これまでの日本側からの教育プログラムの送信内容や次年度の中国側からの送信計画に関する検討等このプロジェクト推進のための情報交換及び討議でした。この会議において通常の教育プログラムの送信以外に、双方のコミュニケーションに関する実験のため、テレビ会議を別に設けることが合意されました。テレビ会議のメンバーは双方の研究フェローが中心であり通訳を介したテレビ会議の実効性の実験ともなります。第1回目のテレビ会議はすでに5月10日に行われました。

21日の夜は理事長、学長、中島研究所長らとの会食、翌22日は日光東照宮への観光を楽しみました。当日の日光は桜が満開、しかも素晴らしい恵まれた天候の下で湯業料理や日光影りも楽しまれたようでした。

(杉原素子)



◇図書館

今年度の図書購入予算は各学科・センターへ均等に配分し、その中で図書・雑誌・視聴覚資料等を購入することになりました。

文献検索用に使用されている医学中央雑誌のCD-ROMを利用するための予約が連日殺到しています。利用方法をよく理解し、検索件数を絞り込んだり、フロピィを利用する等、限られた時間や用紙を有効に活用出来るよう努力されることを望みます。

平成10年度の入館者数は31万5488名でした。1日平均約1000名となります。図書館のルールを守り、充実したひとときをお過ごし下さい。(荒井紫子)

部会・委員会報告

◇国際部

JICA/ケニア医療訓練カレッジ・プロジェクト

* Mr Kiwinda MWADIMEの情報教育センターおよび情報メディア部での研修が4月28日に終了。

* Mr David BWONYAの本学での研修第一部も4月28日に終了、東京女子医大へ移動、8月に再び来学し、放射線・情報科学科で1ヶ月間研修第二部を受ける。

* 本年度のその他の研修員の満日・来学予定

1. Ms Muendo (看護学部教員)；6月下旬10日間来学。
2. Mr Tuukuo (副学長)；8～9月滞日予定。
3. Ms Koyengo (臨床医学部長)；11月から3ヶ月滞日予定。
4. Ms Bwika (看護学部長)；1ヶ月滞日予定(時期未定)。(長谷川豊)

◇国際交流委員会

平成11年度委員：池松裕子(看護)、斎藤昭彦(理学)、福田恵美子(作業)、今井智子(言語)、山崎純四郎(放・情)、○高橋淑郎(経営)、長谷川豊・林玉子(福祉)、細井良三(情報)、◎田中美子・南井紀子(語学)、黒澤美枝子(医学)、眞島奈美・寺門友也(事務局)

◎委員長、○副委員長

新留学生3名が入学：看護・曹秀茹(中国)、理学・高範守(韓国)、看護・蔣讚奎(韓国)

夏期国際ボランティア・研修活動をベトナム、アメリカ、中国、オーストラリアで行う予定で、現在計画中です。近く詳細を発表します。

委員会、4月13日(火)、5月12日(水)

(田中美子)

◇教務委員会

平成11年度の始まりにあたって

平成11年度教務委員会は、前年度と同様、内部委員会として臨床教育小委員会とFD小委員会を置き、活動を開始しました。ただし、カリキュラム検討小委員会は昨年度で活動を終え、保健学部新カリキュラムのフォローは教務委員会で行うことになりました。したがって平成11年度の教務委員会の主たる業務は、今年度学生から実施される保健学部新カリキュラムのフォローにあります。「フォロー」という便利な言葉を用いましたが、具体的には、新カリキュラムの実施状況を把握し、必要ならば調整を行い、この1年間の成り行きを見届けることだと思っております。

また、今年度から、科目履修生、研究生、聴講生制度が実施されました。すでに聴講生4名が手続きを済ませ、受講しています。本学は着実に外に開かれた大学としての機能も果たしつつあります。(杉原素子)

◇紀要委員会

平成10年度最後の第12回紀要委員会を3月23日(火)に開催いたしました。紀要発送先リストの改訂版が事務局において完成いたしました。また、紀要に掲載する論文の種別として資料がありますが、この英語名を決定いたしました。

また、平成11年度に入り、紀要第4巻の編集作業に入ろうとしておりますが、未だ何人かの先生の玉筋が未着となっております。編集作業日程に支障が生じますので、脱稿に一層のご協力をお願いいたします。平成11年度第1回紀要委員会を4月20日(火)に開催いたしました。委員の大幅な交替がありました。

(野原功全)

◇広報委員会

平成11年度委員会構成：藤原聡子・須佐公子（看護）、久保 晃・中口和彦（理学）、菅原洋子・久保田清子（作業）、飯塚直美・西尾正輝（言語）、清水慶昭（放・情）、磯 伸彦（経営）、○田澤 薫・本多 勇（福祉）、◎宮尾洋子・宮崎路子（語学）、菊地義信（情報）、石田 宏・山崎清彦・桑原 崇（事務局）

◎委員長、○副委員長

“IUHW”の発行予定日と編集担当者：26号（6月10日、宮尾、須佐）、27号（7月15日、久保、飯塚、菊地）、28号（10月20日、清水、田澤、中口）、29号（12月5日、宮崎、久保田）、30号（菅原、磯、本多）、31号（4月25日、藤原、西尾）（宮尾洋子）

◇ボランティア委員会

3月27日(土)、大田原市内ハーモニーホールで、大田原市ボランティア連絡会の主催で“ボランティアin大田原”という集いが開催され、市民多数の参加がありました。大学からは“ボランティアサークルあじさい”が意見発表を行い、委員会からも数名の委員が参加しました。

4月のオリエンテーションの機会に新2年生7学科全員を対象にボランティアアンケートを実施しました。現在集計分析中なので、結果がわかり次第広報します。（鈴木五郎）

◇就職委員会

就職100%達成を受けて

本学は、第一回の保健学部卒業生の就職希望者がほぼ100%就職するという快挙を実現しました。

2年後には医療福祉学部の就職がありますので、いまから本学全体の就職活動へと発展させるため、本年度の委員会を発足させました。

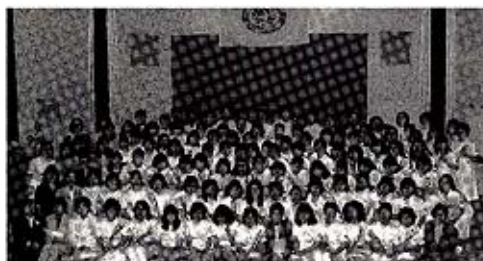
5月17日開催した委員会では、当面の課題である公務員試験の受験者のための集中講座を8月頃開催する

予定で企画準備をすすめています。次回の委員会では各学科の前年度の総括と11年度の就職対策の体制などについて情報交換をおこなう予定です。（鈴木五郎）

学科センターだより

◇看護学科

実習への決意をタイムカプセルにに入れて



2年生は5月12日からの実習を前日に控え決意式を行いました。決意式で学生は実習を行うための個々の決意を記録に残し、タイムカプセルに入れました。そしてタイムカプセルは学生たちが卒業するまでの間、荒井学科長のもとで眠りにつきました。

時を超えて、学生たちが卒業時にそのときの決意を紐解いたとき、何を感じるのでしょうか。自己の成長が実感できるような一瞬であればいいなと思います。そのためにも学生と教員が両者にとって良い環境とされるように努力したいものです。（伊藤まゆみ）

◇理学療法学科

理学療法学科では新1年生100名を迎えて、早速4月23日には例年の通り歓迎会が催されました。新入生は「手荒い歓迎」を受け、さぞ驚かれたことでしょう。4年生はすでに2月から第1期の総合臨床実習に入っており、4月5日からは第2期（6週間）の実習に入っております。学生が実習から戻ってきますと、それぞれに遅くなって見えます。臨床の場に出て、大学で学んだことが初めて活かした知識となって身につくことを誰もが自覚するものです。彼らのますますの成長と活躍を祈りたいと思っています。（潮見泰蔵）

□お知らせ



理学療法学科3年生竹内崇裕君が平成11年3月19日(金)夜、クモ膜下出血のため急逝されました。竹内君は富山県出身で演劇部に所属し活躍していました。来春の卒業に向け総合臨床実習に励んでいる最中のことでした。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

◇作業療法学科

新年度の生活は如何ですか？

早いもので、新年度に入って2ヶ月が過ぎようとしています。学校周辺の変畑も少し黄色くなり始めました。連休も明け、いよいよ授業も本格的に。

1年生/新しい生活にはもう慣れましたか。不安な事、分からない事、ひとりで抱え込まずに相談を。

2年生3年生//専門の授業が増えました。昨年習った事も思い出し、よりいっそう知識を深めて下さい。

4年生/卒業研究を選択した皆さん、進行具合は如何ですか？途中で挫折せぬよう頑張ってください。

(久保田清子)

◇言語聴覚障害学科

4月28日に、第1回言語聴覚士国家試験の合格発表がありました。本学の合格率は95.4%と、全国平均(87.9%)をはるかに上回る好成績でした(ちなみに今回受験した教員も全員合格しました)。

さて、今年の4年生も、国試、就職、臨床実習の“3足のわらじ”を履いて、険しい道のりを歩き始めました。本学科では、このうち就職に関して「第一期生の就職活動報告書」を作成しました。そこには、昨年度の求人傾向や後輩へのアドバイスなどがぎっしりと詰まっています。これから通るであろう寂しい夜道や険しい山道で、学生諸君の強い味方となってくれることでしょう。ぜひ、しっかり活用して頑張ってください。

(植田 恵)

◇放射線・情報科学科

4月16日(金)午後6時からカフェテリアで新入生歓迎のパーティが開催されました。放射線・情報科学科では128名が新たに仲間となりました。2年生が積極的に会を事前準備し、なかなか楽しい雰囲気を作ってくれましたので、緊張気味だった新入生も十分に気持ちが解れました。また、上級生も多数参加してくれて、大いに交流が図れました。初めての国試も終わり、就職先からは活躍の便りが届きつつあります。

開学当初より学科立上げに多大のご尽力をいただきました牧野元治、秋貞雅祥、亘理 勉、志田寿夫の各先生が退職されました。ここに深く感謝いたします。

(野原功全)

◇医療経営管理学科

フレッシュマン来たる

フレッシュパーソンと言わなければならないのでしょうか。ともかく第3回生を迎えて当学科もそろそろ独自のカラーが出はじめました。3年生はゼミが始まり本格的実習を控えて成長が見られます。2年生は1年の経験を経て、勉強しようか、遊ばかなの選択期といっ

た感じですよ。いずれもフレッシュな新入生を迎え新入生歓迎会などで交流が増えつつあります。

就職活動という難問を抱えつつ、日本で最初の学科らしく色々な面でユニークさを追いかけていきたいと考えています。

(紀伊國三)

◇医療福祉学科

GW直前の一夕、2年生主催で1年生歓迎会が盛大に開かれました。入学式のはるか前から周到な準備にかかった2年生、実習を控えて何かと気忙しいなか応援参加した3年生、お忙しいなかお運び下さった学長先生はじめ、語学・総合教育科目の諸先生に学科教職員、5限の社会保障論を早めに切り上げて円滑な会運営に格別にご貢献下さったR先生。皆の歓迎の気持ちがパーティーを迫力のあるものにしました。

1年生と並ぶと不思議と賞状のある3年生にも、バワフルな2年生にも乾杯!!

(田澤 薫)

◇語学教育センター

LLの授業の自主学習プログラム

—学生に教え、教えられた4年間—

「LLの時間の一部は自主学習で…」毎年4月に1年のLLの授業の最初に聞かれる説明の言葉です。自主学習という方法が、強制に慣れた学生に効果があるのか最初は不安もありました。でも、教員が試行錯誤の中で、教科書も作り、改良を重ねるうち、学生からは「LLが1番充実していた」「学んだ診療英語が研修先の米国の病院で使えた」という声も聞かれるようになりました。開放されたLL教室で、時には夜の7時まで残って、納得の行くまで学習する学生達のまさに「自主性」に支えられてここまで来たのだと思います。

(溝口昭子)

◇基礎医学研究センター

基礎医学研究センター医学教育会議について

大学院開設に伴う共同研究施設の開設(案)を契機に、基礎医学研究センターとして改組、発足しました。

当センターは、解剖、生理、病理、薬理学の担当教員から構成されています。従来は、臨床教員とともに医学教育センター会議が持たれておりました。今後も医系教員相互の教学に関する調整・連携などについて協議の場を持つ必要性から、臨床医学、および総合教育センターに所属する医系教員とともに「医学教育会議」として、長谷川嗣夫臨床医学センター長を議長にお願いし、定期的開催する運びになりました。

(飯高和成)



◇言語聴覚センター

3年目の言語聴覚センター

1997年3月3日にオープンした当センターは3年目に入り、この2年間で述べ6,100名以上の方が受診なさいました。一般臨床に加え、昨年度は本学言語聴覚障害学科4年生に対する実習の場の提供という初めての事業も行いました。臨床・各種セミナー・外部派遣・実習など多様な業務を無事行えたのも、日ごろ当センターを支えてくださっている皆様方のお陰です。言語聴覚士が誕生し、新スタッフとして本学卒業生を迎えた今年度は、この2年間の実績を土台に、さらなる飛躍の年にしたいと一同はりきっています。

(相野田紀子)

◇健康管理センター

ークリニックの使命についてー

4月1日から大学クリニック院長を拝命しました。この建物は大学正門を入ってすぐ右側にあるので多くの方が目にしておられることと思います。組織は健康管理センター、言語聴覚センター、一般クリニックからなっています。学生と教職員の健康管理が第一の使命ですが、後二者も重要な役割を持っています。早速、学生健診が始まりましたが、3,182名の胸部X線写真を撮影・読影だけでも大きな作業となります。言語聴覚障害、一般外来の患者さんも多くその信頼にお応えすることも重要な使命と存じています。(都築正和)

教員紹介

(毎号、各学科・センターから1名ずつご紹介頂きます。)

①所属・職位②生年③出身校④専門分野⑤直前の勤め先⑥主要著書又は論文どちらか1点⑦本校における担当科目⑧趣味

豊嶋 三枝子 (とよしま みえこ)



①看護学科・講師③佛教大学大学院教育学研究科④基礎看護学、成人看護学⑤PL学園衛生看護専門学校⑥看護学生の職業的アイデンティティの形成における臨床看護婦の役割⑦看護技術論1-1、1-2、臨床看護論I他⑧絵を描くこと、読書

青山 真美 (あおやま まみ)



①作業療法学科・助手③東北大学大学院医学系研究科障害科学専攻④身体障害の作業療法⑤国立大阪南病院⑥現代日本人肩甲骨窩領域の形態変異に関する研究⑦実習等⑧水泳、スキー、温泉、お酒を少々嗜むこと

西尾 正輝 (にしお まさき)



①言語聴覚障害学科・講師②1958年③明治大学④摂食・嚥下障害、成人発話障害⑤東京大学大学院医学系研究科⑥旭式発話メカニズム検査⑦成人発声発後障害学⑧観劇、テニス

大嶽 達 (おおたけ とおる)



①保健学部・放射線情報科学科・教授②1956年③東京大学医学部医学科④核医学、放射線診断学⑤東京大学附属病院放射線科講師⑥Myocardial glucose metabolism in noninsulin-dependent diabetes mellitus patients evaluated by FDG PET. J Nucl Med 36, 456-463. 1995⑦臨床医学概論、画像解剖学、核医学検査技術学、医用画像技術学、核医学検査技術学実験 山王病院、クリニック、国際医療福祉病院での放射線画像診断⑧ゴルフ、囲碁

田澤 薫 (たざわ かおる)



①医療福祉学科・講師②1967年③お茶の水女子大学④児童福祉⑤お茶の水女子大学(非常勤)⑥「留岡幸助と感化教育」勁草書房、1999年⑦児童福祉論、社会福祉発達史他⑧お菓子作り

今井 博久 (いまい ひろひさ)



①医療経営管理学科・講師②1959年③北海道大学大学院医学研究科博士課程④内科と医療経済学⑤国立病院東京医療センター⑥Cost Analysis of Treatments for Severe Combined Immunodeficiency Patients Caused by Adenosine Deaminase Deficiency: Comparison of Gene Therapy and Bone Marrow Transplantation⑦医療管理学、国際医療福祉論、医療経済学⑧料理、アウトドア、ボディーボード

長谷川 薫 (はせがわ かおる)



①基礎医学研究センター・教授②1948年③東京大学大学院理学系研究科④生理学⑤獨協医科大学、第一生理学教室⑥肝細胞培養法(組織培養の技術・第二版・朝倉書店)⑦生理学、生理学実習⑧星空観望、散歩、ドライブ、NBA、F1

米田 政志 (よねだ まさし)



①臨床医学研究センター・助教授②1957年③弘前大学医学部大学院・医学研究科④消化器内科学⑤旭川医科大学・第二内科⑥Neuropeptide Y in the dorsal vagal complex stimulates bicarbonate-dependent bile secretion in rats.

Gastroenterology 112: 1673-1680, 1997. ⑦内科学、臨床看護論⑧スキー、子育て

鬼越 美帆 (おにこし みほ)



①言語聴覚センター・言語聴覚士②1976年③国際医療福祉大学保健学部言語聴覚障害学科④言語聴覚障害全般⑤音楽鑑賞、打楽器 (いろいろ) 演奏、スノーボード (骨折しても滑ります)、ドライブ (車内で絶唱し自分の世界に酔う)

学生活動いろいろ

◇「日本医学会総会での活躍」



去る3月30日～4月8日の10日間に亘り、東京ビッグサイトにおいて第25回日本医学会総会に付随した「生命 (いのち) の博覧会」が開催されました。今まで一般人には非公開とされていた医学展示でしたが、今回からは名称も「生命の博覧会」と改められ、社会と共に歩む医学というテーマを全面に打ち出した一般の人々にも親しみやすいイベントとなりました。その開催に伴い本学学生は連日に亘り「ライフパトロール

隊」を編成し、高齢者や車椅子の方の補助など献身的なボランティア活動を行い博覧会の成就に貢献しました。(経営2年 高久和也)

◇アメリカ医療の特性と旅の意義

今春ワシントンD.C.にあるプロビデンス病院を訪ね、米国と日本の医療の違いを体感しました。印象強いことは、病院は疾患を治すだけの場ではなく、地域にも貢献する役割があるということです。例えば、高齢者の方でも病棟ボランティアに参加できるよう送迎・食事等を用意し、勤労意欲・生きがいを提供しています。

昨年はネパールを訪れ、この度、先進国と発展途上国双方の医療・生活文化に接し、利欠点を発見することができました。みなさんも外国の異文化に触れ、自己や日本を客観的に見つめ直す旅に出かけて見ませんか。(看護4年 金井和夫)

第13回IUHWクイズ当選者発表

クイズにたくさんの応募をいただきありがとうございます。正解率は約12%でした。厳正な抽選により工藤真衣子さん(看護1年)がIUHWクイズ第12弾の当選者に決定しました。当選者は学生証を持参の上、事務局まで来て下さい。正解は以下の通りです。

問1. 今年度本学には大学・大学院合わせて865人の学生が入学しました。そこで、出身都道府県別ランキングを調べてみました。人数の多い順に並んでいる組み合わせはどれだと思いますか?

- 正 ①栃木県、東京都、埼玉県
②栃木県、茨城県、群馬県
③栃木県、福島県、茨城県
(左より1位、2位、3位)

問2. 栃木県と境を接している県は福島県、茨城県、群馬県など4県あります。そこでもう1つ境を接している県はどこだと思いますか?

- ①新潟県
正 ②埼玉県
③千葉県

問3. 栃木県北部に位置する大田原市。栃木県内には大田原より北に位置する市町村がいくつかあります。栃木県内で一番最北端の市町村はどこだと思いますか?

- 正 ①黒磯市
②那須町
③栗山村

新1年生の声

新しいキャンパスライフ

大田原に家族で引っ越して来て1ヶ月半が過ぎました。僕は結婚して5年になりますが、その5年の間に6度の引っ越しを経験しているので特に戸惑うことはありませんでした。夜になると聞こえてくるカエルの鳴き声も東京出身の妻は驚いていますが田舎出身の僕は13年ぶりに聞く声を懐かしく思いながら楽しんでます。しかし、13年ぶりに受ける学校での英語の授業は、巨人の松井やヤクルトの古田を抑えるより大変です。
(理学1年 銀月 一)
(望月さんは元プロ野球広島カープの投手です。)

編集部

入学後1ヶ月を経て

大田原の第一印象は「4月というのに非常(異常)に寒い。」そして山の上の校舎は吹きさらしで淋しい。暗くなる気持ちを、明るくしてくれたのは、先輩による歓迎会。手作りの御馳走と参考になるお話、真心がこもっていて心温まる思いでした。楽しい一時をありがとうございました。私を含め、ほとんどが初めての1人暮らし。少なからず不安を抱いていたと思います。困った時には相談できる先輩がいらっしゃる事がわかり安心したと思います。看護学科は個性豊かで年齢も様々。先生もユニークと感じました。私の悩みは解剖学と英単語、毎日覚えるのに必死です。余裕のない私ですが、人との出会いを大切に、刺激を受けながら向上して行きたいと考えています。どうぞよろしくお願ひ致します。
(看護1年 根岸葉子)

IUHWクイズ ー第14弾ー

賞品はなんと旅行ギフト券(8,000円分)!

解答を記入して事務局窓口外側のメールボックスへ投入するだけ。正解者多数の場合は抽選で1名の方に旅行ギフト券をプレゼント。応募資格は本学の学生で、1人1通、メ切は7月5日です。

キリトル

学科	学年	キリトル
名前		
解答例. 頭	7.	
1.	8.	
2.	9.	
3.	10.	
4.	11.	
5.	12.	
6.	13.	

Hi/IUHW生のみなさんへ英語のクイズ再登場。下の字群をたて、よこ、ななめに読んで人間の身体部分の名を探し、日本語で書いてください。

```

A F N M U S C L E A T
Z O A S O N A I L N H
F R V T H U M B B K R
I E E K H W T E O L O
N H L N E C R H W E A
G E B E A O P I N Y T
E A J E D K U P S P Q
R D I Y R I B N U T E
    
```

リレーエッセイ

Life is beautiful /

医療福祉学科 齋藤 調

好きなことがたくさんあると時間が足りなくて本当に困ってしまう。何事にも遊び心が大切と思っているにしても過ぎたるは猶…である。大好きなサッカー、テニスなどその感動が嬉しくて「ライブで見るのが醍醐味」などと言ってしょっちゅう寝不足。小説だって面白くて集中すると気がつけば空が白々…である。音楽なら「ながら」ができるが、映画はやはり「劇場で見たい」と思っている。しかし、それらは心理的にも物理的にも自分にとっての至福の時となっている。先日来たて続けに映画を見たが、アカデミー外国語映画賞受賞の「Life is Beautiful」は悲しくておかしくてシンプルなストーリーでいい時間を過ごせた。もっとよかったのが「セントラル・ステーション」であり、アングロプロスの「永遠と一日」だった。人生にとって何が大切かなどといったことが心に響いてきた。と、考えたり、感じていると奇妙だが自分の感性が少しずつ息づいていく感覚が生じる。勉強の意欲も湧く。これなら多少、寝不足でも生き生きできるかなとも思ったりする。やはり Life is beautiful! である。

次回執筆者：加藤尚子先生(医療経営管理学科)

編集後記

理学：優勝、看護：準優勝で幕を閉じた運動会。それぞれに流した汗と涙はまぶしく美しいものでした。夏に向かいIUHW生の活動も盛んになっていくことと思います。これからもそんな一生懸命をタイムリーにお届けしたいと思います。(須佐公子)